

京都市岡崎公会堂に関する史料調査報告②

井 原 麗 奈

An Investigation Report of Historical Materials Related to Kyoto City Okazaki Public Hall (2)

IHARA Rena

元神戸女学院大学大学院 文学研究科 博士研究員、
静岡大学 学術院 融合・グローバル領域 地域創造学環 准教授
連絡先：井原麗奈 〒422-8017 静岡県静岡市駿河区大谷836 静岡大学
ihara.rena@shizuoka.ac.jp

要 旨

京都市岡崎公会堂とは、1915年に大正天皇の即位の大礼の際に饗宴場として二条城内に建設された建物を、1917年に京都・岡崎（2016年1月に改装オープンした「ロームシアター京都」の位置）に移築し、公会堂として開館したものである。大礼後に宮内省から京都市へ下賜され、1934年の室戸台風で倒壊するまでの約17年間、市民のあらゆる活動の場として活用された。

筆者はこの公会堂の史料調査を2013年から約3年間続け、戦前期に公会堂が果たした役割についての考察を日本文化政策学会の『文化政策研究』第9号（美学出版、2015年）及び『論集』第63巻第1号に研究ノートとして投稿したが、幾つかの貴重な史料を紙幅の都合上、掲載できなかったため、その続編として本稿を投稿する。

キーワード：公会堂、京都、岡崎、大典（大礼）、演劇、ロームシアター京都

Summary

Kyoto City Okazaki Public Hall is a building which was originally built on the grounds of Nijo Castle in 1915 to hold the feast for Emperor Taisho's coronation, and then relocated to Okazaki, Kyoto City (where ROHM Theatre Kyoto was renovated and reopened in January, 2016) and opened as a public hall. After the coronation, The Imperial Household Agency bestowed it upon Kyoto City, and it was used for the activities of the townspeople for 17 years, until it collapsed due to the Muroto typhoon in 1934.

For three years, the author carried out an investigation of historical materials for the public hall, and submitted a study of the role it played before the war to The Japan Association for Cultural Policy Research's *Cultural Policy Research Vol. 9* (Bigaku Shuppan, 2015) and *Kobe College Studies Vol. 63 No. 1* as research notes, but due to the limited space being assigned to several valuable historical records, it was never published. This report was written as a sequel to the first part.

Keywords: Public Hall, Kyoto, Okazaki, Enthronement (Coronation), Play, ROHM Theatre Kyoto

I. はじめに

本稿は京都市岡崎公会堂（以下京都市公会堂）の史料状況について報告するものである。対象は主に戦前期である。この公会堂に関する史料を全て網羅したものではないが、公的な図書館、資料館、役所等で入手できる史料には概ね目を通した。

戦前期に設置された公会堂に関する史料は、現在まで残されているものが少ない中で、京都市公会堂は他の公会堂と比較して状況が良い。また市史などの刊行物や新聞に限定されがちな史料の種類も、公文書や公演プログラムなど幅広い。それらが何処に、どの様に保存されているのかを報告することで、この公会堂の特殊性を示すと共に、今後の公会堂研究の発展に寄与したい。

表題では「京都市岡崎公会堂」という名称を使用した¹⁾が、本文では便宜上「京都市公会堂」とする。また文献中でも「京都市公会堂」「岡崎公会堂」「市公会堂」など表記が統一されていない。文献中に出て来た表記についてはそのまま使用する事とする。

本稿の目的については前号でも述べたが、公会堂や公共ホールは図書館や博物館など資料の保存、活用を目的としている施設とは異なるため、そこで行われた催事等の記録は規則的に、一律に保存されるものではなく、偶然性によってしか残されない現状が問題であることを指摘することにある。筆者は催事等の資料は人の営みの記録であり、数年後には歴史史料としての価値を帯びると考える。収集・整理・保存・公開という現在の公共ホールのアーカイブ活動の重要性について提示したい。

II. 史料状況について

1. 国立公文書館デジタルアーカイブ

このアーカイブでは、国立公文書館が所蔵する特定歴史公文書等の目録情報を検索し、一部資料のデジタル画像を見ることが出来る。「京都」「公会堂」というキーワードで検索し、『京都市公会堂撤去ニ関スル件』を見つけた。これは1934年9月21日の室戸台風で本館が倒壊した際に建物の処分について京都市長大森吉五郎と東京市内閣書記官長河田烈の間で交わされた3件の書類である¹⁾。まず京都市長から内閣書記官長へ台風翌日の22日に本館が使用に耐えざる状態になったことを知らせ²⁾、27日に改めて修復の見込みが無いことを伝えたく³⁾、撤去についての意見を照会している⁴⁾。10月2日に内閣書記官長から京都市長へ異存が無いことが伝えられており⁵⁾、同様の書類が京都市の簿冊にも残っている⁶⁾。国立公文書館デジタルアー

1) 請求番号：本館-2A-014-00・纂02100100、件名番号：007、作成部局：内閣、年月日：1934（昭和9）年10月2日、マイクロフィルム：055600、開始コマ：1482。

2) 文書番号：発庶庶1016号。

3) 文書番号：発庶庶1033号。

4) ここに天井組木、欄間、電気器具（シャンデリア）、金具などは保存すると書かれている。

5) 文書番号：府乙第2号。

カイブ⁷⁾はインターネット環境があれば誰でもアクセスが可能である。

2. 国立国会図書館デジタルコレクション

国立国会図書館デジタルコレクションは収集・保存しているデジタル史料を検索・閲覧できるサービスで、「館内限定閲覧」の史料とそうでないものがある。前者はデジタル史料であっても図書館へ行かなければ閲覧できないが、後者は国立公文書館デジタルアーカイブ同様、インターネット環境があれば図書館へ来館せずに史料の閲覧が可能である⁸⁾。

ここで見つけた京都市公会堂関連の史料が大別して2件ある。一つは『浅山市長と其の事蹟』⁹⁾で、「第三章 市公会堂並勸業館復興事業」に浅山富之助市長が自ら陣頭に立って寄付募集運動を行ったことが記されている。再建費総額130万円のうち50万円を寄付で賄う計画(残りの80万円は起債)を立て、「公会堂勸業館復興事業協賛会」を設立した。市長は設立の集会の場で次のように演説している。古都のプライドから、対外的にも京都市において重要な施設であると認識されていたことがよくわかる文章である。

今は帝都ならざるも即位の大禮及大嘗祭を執り行はせ給ふ地として定められまして久遠に光輝ある榮譽を擔ふに止まらず、観光都市として正に万邦に冠絶せる地位を占めてゐるのであります。斯くの如く千載の旧都であり、又百余万の人口を擁する国際的大都市である本市に於ては、貴賓の送迎は固より各種の儀式会合の如き其の数毎年数百を算し、而も是等は悉く公会堂の利用に俟たざるべからざるの実状に在るのであります。

(京都市公会堂勸業館復興事業協賛会「趣意書」より一部抜粋¹⁰⁾、筆者下線/以下同)

二つ目は戦前と戦後の京都市発行の刊行物である。戦前のものは『京都』¹¹⁾と1938(昭和13)～1940(昭和15)年の『市政概要』¹²⁾で、いずれも下賜された経緯や建物の規模が述べられている。『市政概要』は本館倒壊後の刊行物なので、「惜しくも大破し使用に堪へざるに至った」と書かれている。1938年の『市政概要』には再建の計画があるとしたうえで「(前略)暖冷房設備を有する大公会堂を建設すべく目下着々工事の準備中であるから近く豪壮美麗全国に比類なき新堂の現出を見るであらう」とあるが、1939年と1940年には「(前略)暖冷房設備を有する大公会堂を建設すべく諸般の準備を進め略々その準備を完了せる折に鉄使用制限実施せられ、工事は一時延期の現状にある。」とある。1937年に開戦した日中戦争の影響であるが、この高揚感の違いに戦時下の厳しさを見る。

6) 9月25日に宮内大臣へも同様の照会を行っており、10月3日に宮内次官から返信を受けている(リール番号:359404、コマ番号:確認中)。

7) <https://www.digital.archives.go.jp/index.html> (検索日:2016年2月10日)

8) <http://dl.ndl.go.jp/> (検索日:2016年2月10日)

9) 夏秋義太郎編『浅山市長と其の事蹟』夏秋義太郎自費出版、1938年。館内限定閲覧。

10) 京都市『京都市公報』号外(8)、昭和14(1939)年3月31日号。

11) 京都市、1929年。館外閲覧可。

12) 京都市総務部庶務課、1938年・1939～1940年・1939～1940年。館外閲覧可。

戦後の史料は京都会館が設置された1960年に発行された『京都市例規集』¹³⁾ である。ここには1955年に改正された「京都市公会堂使用条例」と「京都市公会堂施行細則」のほか、「京都市公会堂使用許可申請書」の様式が掲載されている。

3. その他

このほか京都市公会堂について言及している刊行物等を紹介する。移転前の饗宴場だった頃の建物の様子は『御大礼写真帖』¹⁴⁾ に見ることができるほか、博覧会の書籍『御大典記念事業史』¹⁵⁾ には公会堂が昭和天皇の大礼の際にも活用された様子が書かれている。沿革については市の公文書を元にして作成された『岡崎公園沿革史』¹⁶⁾ に詳しく、『京都の歴史8 古都の近代』¹⁷⁾ には公会堂設置が当初は財政難で見送りになったこと、その後下賜によって設置が決まり、1922年には全国水平社創立大会の会場にもなったことが簡潔に書かれている。この創立大会の会場である公会堂への関心は『部落史ゆかりの地』¹⁸⁾ や駒井忠之「全国水平社創立大会の参加者数をめぐって」¹⁹⁾ に詳しい。

また「韓国歴史情報統合システム」²⁰⁾ の中にも、「京都市公会堂」の記述がある史料を見つけた。延禧専門学校教授であった盧東奎の『悔悟録』（日本語）である。1938年11月19日に書かれた文書で、「延禧専門学校 同志会 興業倶楽部 関係報告」という書類群の中に収められている。これがどのような状況下で書かれたものか、口述筆記されたものか分からないが、京都帝大留学中に共産主義思想に触れて感化され、延禧専門学校へ就職後は講義で学生たちにそのような思想を広めたことを悔い改める内容である。日中戦争開戦翌年であることや、盧氏が1937年に延禧専門学校経済研究会事件で検挙されていること、史料群の中には同時に検挙された同校の2名の教授の「悔悟録」も収められていることなどから、検挙後に書かされたか、言わされた内容であろう（盧氏は1938年以降、消息不明）。京都市公会堂に関しては彼が京都留学中に感銘を受けた、もう一つの思想であるキリスト教と関係がある。文章には賀川豊彦や山室軍平の運動に心酔していた1926年²¹⁾に、救世軍のブース大將が京都市公会堂で行った講演を聴き、「随喜ノ涙ヲ流シ」で洗礼を受け、キリスト教徒になる決心をしたとある。この公会堂が朝鮮人留学生の人生の転機を与える場となったことは、帝国主義体制下での植民地の時空との繋がりを考えさせられる。

13) 第2編2、京都市市長公室調査課、帝国地方行政学会、1960年。館内限定閲覧。

14) 小川一真、小林文泉堂、1915年。

15) 北澤康男、京都市史編さん所、1986年（大正編）、1987年（昭和編）。

16) 京都市理財局財産管理課編、1997年。

17) 京都市、1975年、310頁、332-333頁、382頁。

18) 宮武利正、解放出版社、2006年。

19) 『京都部落史研究所報』復刊第3号、1997年、4-10頁。

20) <http://www.koreanhistory.or.kr/>（検索日：2016年2月10日）

21) 本文では1925（大正14）年頃とあるが、新聞等で調べる限り救世軍の創始者の長男ブラムエル・ブースが来日し、京都へも立ち寄ったのは1926年の10月であるため、1926年とした。

Ⅲ. 催事リスト

ここでは二種類の催事リストを紹介する。一つは新聞記事のデータベースを活用して作成した催事リストを、もう一つは芸能関係の既存の年表などから、催事を拾い上げる方法で作成したリストを報告する。

1. 新聞記事データベース

神戸女学院大学図書館で契約している朝日新聞の記事データベース「聞蔵Ⅱビジュアル」と読売新聞の「ヨミダス歴史館」で調査を行った。「京都公会堂」「岡崎公会堂」「京都市公会堂」「京都市岡崎公会堂」「京都岡崎公会堂」の5つのキーワードで、戦前期に限定して検索をかけ、朝日新聞では42件、読売新聞では3件の以下の結果が得られた（表1）。

表1：朝日新聞・読売新聞のデータベースに見られる催事リスト

朝日新聞								
No.	発行日	タイトル	社／刊種	ページ	掲載位置	検索キーワード	催事内容	
1	1918年5月2日	山公園侯会見	東京／朝刊	2頁	7段	京都公会堂	贈位先賢祭	
2	1919年2月16日	尾崎行雄氏を迎えて 京都の労働大会 各胸に白薔薇を簪し行列を作りて市中を練り 岡崎公園に集りて盛なる普通選挙の期成大演説会／同志社団の大道演説 自動車で活動 職工団と握手を交換す	東京／朝刊	5頁	4段	京都市公会堂	大会	
3	1920年3月9日	憲政京都総会	東京／朝刊	2頁	12段	京都市公会堂	総会	
4	1920年9月2日	今夜入京の米國議員団／危険支鮮人の嚴重警戒 東京駅内外と沿道帝国ホテルの附近 警官三百名を備ふ	東京／朝刊	5頁	6段	京都公会堂	茶話会	
5	1921年1月24日	尼さんも押かけて仏教徒参政演説 京都公会堂に二千余名 関西大会の盛況	東京／朝刊	5頁	4段	京都公会堂	大会	
6	1922年6月14日	国粋会総裁に佐藤鉄太郎中将 全国支部長が集まり 京都の総会で推挙決議	東京／朝刊	5頁	10段	京都市公会堂	総会	
7	1922年6月19日	憲政擁護 京都市民大会 決議 江木翼氏演説	東京／朝刊	2頁	7段	京都岡崎公会堂	大会	
8	1923年3月4日	二条橋畔の大活劇 小僧の失言から騒動になった水平社大会 西本願寺の本堂を占領して殺気立つ	東京／朝刊	5頁	5段	京都市公会堂	大会	
9	1923年7月28日	奥村の争議団三百名 市役所へ押寄す 公会堂使用を禁止されて	東京／朝刊	5頁	9段	京都市公会堂	演説会	
10	1924年2月24日	本社の講演会 昨日京都で	東京／朝刊	2頁	12段	京都市公会堂	講演会	
11	1924年4月30日	全国教育者大会昨日京都で	東京／朝刊	3頁	6段	京都公会堂	大会	
12	1924年6月25日	仏教各団体一大運動	東京／朝刊	7頁	5段	京都市公会堂	講演会	
13	1924年11月15日	梅蘭芳俄に帰国 京都で胃痙攣を起し 連日出演の疲れも出て	東京／朝刊	7頁	7段	京都市公会堂	芸能／その他	
14	1925年2月18日	財界雑俎／米穀大会開催	東京／朝刊	4頁	6段	京都市公会堂	大会	
15	1926年3月11日	産児制限も建議 農民組合大会 きふ岡崎公園で	東京／朝刊	3頁	4段	京都岡崎公会堂 岡崎公会堂	大会	
16	1926年9月29日	六ヶ町二十八村の三千の児童盟休す 新潟県下の農民組合大挙して 三裁判所に押寄せんとす 事態重大となる／各駅に待伏せ片端から検挙す 京都大会の大警戒／大阪の演説	東京／朝刊	11頁	5段	京都市公会堂	演説会／大会	
17	1926年11月13日	太平洋会議の学者連京都入り 皇居や嵐山の秋色を探る 数氏は大朝社へ	東京／朝刊	6頁	1段	京都市公会堂	招待会	
18	1927年1月17日	農民組合連合会	東京／朝刊	3頁	5段	京都市公会堂	大会	
19	1927年12月4日	堀江婦一博士卒倒す	東京／朝刊	7頁	7段	京都市公会堂	講演会	
20	1928年1月12日	民政党京都支部大会	東京／朝刊	2頁	11段	京都市公会堂	大会	
21	1928年5月27日	永平社大会、京都で開会	東京／朝刊	2頁	13段	京都市公会堂	大会	
22	1928年11月19日	秩父宮の御干杯で光栄ある大晩餐会 京都市主催で岡崎公会堂に善美を極めて開催	東京／朝刊	2頁	4段	岡崎公会堂 (岡崎公園公会堂)	晩餐会	
23	1929年1月16日	民政党京都支部大会	東京／朝刊	2頁	13段	京都市岡崎公会堂	大会	
24	1929年1月17日	政友会京都支部大会	東京／朝刊	2頁	13段	京都市公会堂	大会	
25	1929年9月29日	新労農党組織関西準備会 きよの京都を皮切りに開催	東京／朝刊	2頁	10段	京都公会堂	大会	
26	1929年9月30日	新労農党創立大会混乱 4名検束さる	東京／朝刊	3頁	8段	京都市公会堂	演説会	
27	1929年11月29日	倒閣の陰謀に疑獄の利用は何事 きよと与党近畿大会において浜口首相の演説	東京／夕刊	1頁	4段	京都市岡崎公会堂	大会	

No.	発行日	タイトル	社／刊種	ページ	掲載位置	検索キーワード	催事内容
28	1929年11月29日	民政党近畿大会	東京／夕刊	1頁	6段	岡崎公会堂	大会
29	1930年1月15日	政友会京都支部大会	東京／朝刊	2頁	13段	京都岡崎公会堂 岡崎公会堂	大会
30	1930年2月14日	首相演説に大盛況 昨夜の京都公会堂	東京／朝刊	2頁	9段	京都公会堂 京都市公会堂	演説会
31	1930年5月19日	京都公会堂一部焼く	東京／朝刊	7頁	11段	京都公会堂 京都市公会堂	大会
32	1930年7月10日	京都の若槻氏	東京／朝刊	2頁	13段	京都市公会堂	歓迎会
33	1932年1月31日	若槻総裁の遊説予定	東京／朝刊	2頁	12段	京都市公会堂	演説会
34	1932年9月23日	これより以下24日解説 京都岡崎公会堂より ソプラノ独唱／三浦環 伴奏／宝塚交響楽協会 指揮／ヨセフ・リンケ	東京／朝刊	5頁	7段	京都岡崎公会堂 岡崎公会堂	洋楽
35	1932年12月5日	京都で国民大会	東京／朝刊	7頁	5段	京都市公会堂	大会
36	1932年12月7日	故森田茂氏の京都市葬	東京／朝刊	11頁	4段	京都市公会堂	葬儀
37	1934年4月14日	水平社全国大会	東京／夕刊	2頁	6段	京都市公会堂	大会
38	1936年11月4日	日本主義青年全国結成大会	東京／朝刊	2頁	13段	京都市公会堂	大会
39	1937年7月11日	伏し転び30年 伸びゆく新劇界を顧て、おもい 出を語る人々 (10)／進歩を阻止する者 薄べ らインテリ 玉子焼とハムレット 咲阿を切る 佐々木氏	東京／夕刊	9頁	1段	岡崎公会堂	演劇
40	1938年4月29日	レスリング候補西下す	東京／朝刊	8頁	6段	京都市公会堂	スポーツ競技
41	1941年10月10日	株取全国大会	東京／朝刊	2頁	12段	京都市公会堂	大会
42	1941年10月16日	今ぞ皇国興廃の関頭 我海軍は健在なり 平出 大佐講演 日米間の危機力説	東京／朝刊	1頁	1段	京都市公会堂	懇談会／講演 会

読売新聞

No.	発行日	タイトル	刊種	ページ	分類	検索キーワード	催事内容
1	1924年9月11日	洋裁講習会 京都服装研究会応援 十四日より 岡崎公会堂にて／京都	朝刊	7頁	衣	岡崎公会堂	講習会
2	1928年4月27日	[撞球] 鈴木氏も出る大公開競技会 来月3日 京都公会堂で	朝刊	10頁	スポーツ	京都公会堂	スポーツ競技
3	1934年7月23日	米・満の繯れ解けず正面衝突の危機 仏青大会 の次期開催地問題	朝刊	7頁	宗教	岡崎公会堂 京都岡崎公会堂	大会

この催事の中で最も多く開催されているのは「大会」である。朝日と読売を合わせて22件あった。ほぼ検索結果の半分である。網羅的な調査ではなく、偶然記事になった催事のみを拾い上げているだけなので、この傾向は実態とは異なるかもしれないが参考にはなる。

2. 芸能関係の年表

新聞記事を典拠に纏められた二種類の年表『近代歌舞伎年表京都篇』²²⁾、『京都府百年の年表 9 芸能編』²³⁾ から京都市公会堂で行われた催事を抽出してジャンル別に分類し、更に先述の京都府立総合資料館に寄贈された公演パンフレット類『岡崎公会堂筋書』の情報も含めて整理し、年代順に表記したものが次の表2である。これらの年表の情報は殆ど『京都日出新聞』に典拠している。新聞記事データベースのリストと照らすと梅蘭芳は1924年11月13日に公演後、体調を崩して即帰国している様子や、三浦環が1932年に帰国後の6月と9月に京都で公演を行っている様子などがわかる。また表3は表2をジャンルに分けて回数をカウントしたものである。

22) 国立劇場近代歌舞伎年表編纂室、1995年。第6-9巻より。

23) 京都府、1974年。巻末年表1917～1934年より。

表2：1917～1934年に京都市公会堂で行われた芸能関係の主な催事

出典	ジャンル	日時	催事タイトル	主催	出演	その他	備考
A(日出)	邦楽	1917年11月3日	鈴木鼓村箏曲独奏会	国風会	鈴木鼓村		東館
B(大朝・日出)	歌劇	1917年9月19・20日	宝塚少女歌劇 御伽歌劇『大江山』『雛祭』 歌劇『桃色鸚鵡』『女曾我』、管絃合奏 ほか	京都基督教青年会 日本健康会	宝塚少女歌劇		
B(大朝)	歌劇	1918年6月6・7日	宝塚少女歌劇 喜歌劇『コザムの市民』 歌劇『コサックの出征』『大名』、管絃合奏 ほか	京都基督教青年会 日本健康会	宝塚少女歌劇		
B(大朝・日出)	歌劇	1918年9月26・27日	宝塚少女歌劇 歌劇『造物王』『七ヶ踊』『クレオパトラ』『江の島物語』 御伽歌劇『鼠の引越』、管絃合奏	出征日本軍隊慰問会 京都基督教青年会 日本健康会連合	宝塚少女歌劇		
A(日出)、 B(日出)	演劇	1919年3月8日	エラン・ヴィタール小劇場 グレゴリー夫人作『月の出』 成瀬無極作『薔の花』 チェーホフ『犬』		エラン・ヴィタール小劇場		定会員募集以来初めての小試演会
A(日出)	洋楽	1919年4月5日	大谷政子姫追悼音楽会	松島つね子 (学習院文学部音楽教師)	パウル・ショルツ 永井郁子		
B(大朝・日出)	歌劇	1919年6月5・6日	宝塚少女歌劇 御伽歌劇『こだま』 歌劇『千手の前』『鼎法師』 喜歌劇『家庭教師』『唾女房』	京都基督教青年会 日本健康会	宝塚少女歌劇 雲井浪子、天津乙女 ほか		
B(大朝・日出)	歌劇	1919年10月2・3日	宝塚少女歌劇 御伽歌劇『蟹満寺縁起』 喜歌劇『世界漫遊』 歌劇『風流延年舞』『源氏物語賢木巻』 弦楽合奏 ほか	京都基督教青年会 日本健康会	宝塚少女歌劇		
B(大朝・日出)	オペラ	1919年10月6・7日	露国大歌劇 歌劇『カルメン』『椿姫』	京華日報 大阪日日新聞	露国大歌劇		
A(日出)、 B(大朝・日出)	演劇	1919年11月20・21日	エラン・ヴィタール小劇場 東京路路社創作劇場合同試演会 倉田百三作『出家とその弟子』	西田天香 (鹿ヶ谷一燈園)	エラン・ヴィタール小劇場 東京路路社創作劇場		
A(日出)、 B(大朝・日出)	演劇	1920年2月27・28日	エラン・ヴィタール小劇場第9回試演会 久米正雄作『地蔵経由来』 ドストエフスキー作『罪と罰』		エラン・ヴィタール小劇場		
B(大朝・日出)	演劇	1920年4月18日	童話劇協会 『聖徳太子』『宿因』『ニセ地蔵』	童話劇協会			
A(日出)、 B(大朝・日出)	演劇	1920年5月1日	風俗研究会第2回試演会 『時代風俗劇』		風俗研究会		内容は神代風俗、天平風俗、源平武家風俗、徳川風俗を見せるもの。
A(日出)、 B(大朝・日出)	歌劇	1920年5月26・27日	宝塚少女歌劇 御伽歌劇『文福茶釜』 歌劇『毒の花園』『女医者』 ほか	京都基督教青年会 日本健康会	宝塚少女歌劇		
A(日出)、 B(日出)	演劇	1920年6月11・12日	エラン・ヴィタール小劇場第10回試演会 レューツラー作『狂者』 武者小路実篤作『或る日の一休』 久米正雄作『牧場の兄弟』		エラン・ヴィタール小劇場		
B(大朝・日出)	歌劇	1920年9月28・29日	宝塚少女歌劇 歌劇『乱菊草紙』『夢若丸』 時代錯誤歌劇『八犬伝』、管絃合奏 ほか	京都基督教青年会 日本健康会	宝塚少女歌劇		
A(日出)、 B(大朝・日出)	演劇	1920年10月21・22日	エラン・ヴィタール小劇場第11回試演会 ゴーゴリ作『検察官』 秋田雨雀作『三つの魂』		エラン・ヴィタール小劇場		
A(日出)、 B(大朝・日出)	演劇	1921年2月12・13日	生命座第13回試演会 菊池寛作『父帰る』 トルストイ作『生ける屍』		生命座		エラン・ヴィタール小劇場が改名して「生命座」となった。
B(大朝)	演劇	1921年4月9日	童話劇協会 詩劇『人魚の国』 聖劇『降魔』 童話劇『たび人』『アミスとアミール』	童話劇協会			
A(日出)	演劇	1921年4月11・12日	甲午生命社 生命戯曲朗読会	甲午生命社			甲午生命社は笹本甲午主宰。
A(日出)、 B(大朝・日出)	演劇	1921年4月 14・15・16日	生命座第16回試演会 シェイクスピア作『ハムレット』 松井松葉作『マクベスの稽古』		生命座		
B(大朝・日出)	歌劇	1921年5月24日	宝塚少女歌劇 御伽歌劇『雀のお宿』 喜歌劇『守銭奴』 舞踊『月光曲』 新歌舞劇『二葉の櫛』 弦楽合奏	京都基督教青年会 日本健康会	宝塚少女歌劇 天津乙女 ほか		御伽歌劇の振付は榎茂都陸平。

出典	ジャンル	日時	催事タイトル	主催	出演	その他	備考
A(日出)	演劇	1921年5月21日	表現座第1回試演会 秋田雨雀作『国境の夜』 岡本綺堂作『黒い外套の男』 シェイクスピア作『ベニスの商人』		表現座		
A(日出)	洋楽	1921年6月6日	京都フィルハーモニー・オーケストラ 第1回公演 アルジェリアの組曲、瀧死の白鳥 ほか	京都フィルハーモニー・ オーケストラ	京都フィルハーモニー・オーケ ストラ		サン＝サーズの曲を中心に演奏。
A(日出)	邦楽	1921年6月9日	2代目常盤津林中3回忌追悼演芸会				
A(日出)、 B(日出)	演劇	1921年6月13・14日	生命座第17回試演会 谷崎潤一郎作『信西』 シュミットボン作『街の子』 チャーホフ作『結婚式』		生命座		
A(日出)、 B(日出)	演劇	1921年6月26日	両洋学院 学生劇第三回試演会 寓意劇『砂時計』 史劇『燈籠大臣』 詩劇『王女エルマ』 喜劇『西行』				
A(日出)、 B(日出)	演劇	1921年6月28日	青騎手小劇場 武者小路実篤作『釘を打つ音』 ストリンドベリー作『偵鬼』 ほか		青騎手小劇場		
A(日出)、 B(大朝・日出)	演劇	1921年10月6・7日	生命座第19回試演会 スチュロー作『腕輪』 久米正雄作『地藏教由来』 有島武郎作『死とその前後』		生命座		
A(日出)、 B(日出)	オペラ	1921年10月22・24日	露西亞大歌劇団 歌劇『リゴレット』『胡蝶夫人』		露西亞大歌劇団		
A(日出)、 B(日出)	歌劇	1921年11月4日	宝塚少女歌劇 御伽歌劇『牛若丸と弁慶』 管絃合奏 歌劇『忍ぶ草』『眠の女神』『番太鼓』 ほか	京都基督教青年会 日本健康会	宝塚少女歌劇 天津乙女 ほか		
A(日出)	洋楽	1921年11月11日	京都フィルハーモニー・ソサイエティ 第2回管弦楽演奏会	京都フィルハーモニー・ ソサイエティ	京都フィルハーモニー・ソサイ エティ		6月6日に第1回公演を行った京都フィル ハーモニー・オーケストラと同じ団体と考えら れる。
A(日出)、 B(大朝・日出)	演劇	1921年11月23・24日	生命座第20回試演会 賀川豊彦作『死線を越えて』		生命座		
A(日出)、 B(大朝・日出)	演劇	1921年12月15・16日	生命座研究劇公演 ダンサニー作『忘れて来たシルクハット』 武者小路実篤作『罪なき罪』		生命座		東館での公演
A(日出)、 B(大朝・日出)	演劇	1921年12月17日	坪内氏試演会 武者小路実篤作『或る日の一休』 松井松葉作『秀吉と淀君』 ほか	坪内士行、坪内操 ほか	坪内士行、坪内操 ほか		
A(日出)	邦楽	1922年3月3日	長唄津宝美会 第1回演奏会	長唄津宝美会	長唄津宝美会		
A(日出)、 B(日出)	演劇	1922年3月25・26日	生命座第21回試演会 岡本綺堂作『仁和寺の僧』 アンドレーフ作『人の一生』 山本有三作『生命の冠』		生命座		
A(日出)、 B(日出)	演劇	1922年6月6日	新劇試演会 アルフレッドスウトロ作『どん底の二人』 邦枝完二作『カナリア』 マレイ作『兄弟』		辻野良三(ママ)、明石潮、三 好栄子 ほか		
A(日出)	邦楽	1922年6月10日	常盤津文字八披露				先斗町、上七軒等が応援。
B(大朝)	演劇	1922年6月11日	素劇室内劇 第1回試演 グレゴリー作『月の出』 菊池寛作『順番』 シェイクスピア作『真夏の夜の夢』		京都地球座		東館での公演
A(日出)、 B(日出)	演劇	1922年7月28日	涼しいお伽の会 童話劇『舌切雀』『三つの斧』 ほか	京都銀の壺社			
B(大朝・日出・ 京都日日)	演劇	1922年9月17・18日	新文芸座 『無知なる者』 佐藤紅緑『煤煙』 ほか		新文芸座		
A(日出)	邦楽	1922年9月30日	長唄芙蓉会	富士田音蔵一派			
B(京都日日)	演劇	1922年10月6日	宝塚少女歌劇 御伽歌劇『めくらと糸』 喜歌劇『能因法師』 歌劇『シヤクンタラ姫』『榎の僧正』	京都基督教青年会 日本健康会	宝塚少女歌劇		
B(大朝・ 京都日日)	演劇	1922年11月2日	新しい村の水利事業資金募集のための講演及び劇の会 武者小路実篤作『神と男と女』 ハンスザックス作『天国に旅する学生』		武者小路実篤 ほか		
A(日出)、 B(日出)	オペラ	1923年2月 15・16・17日	伊太利歌劇 歌劇『リゴレット』『ファウスト』 『カヴァレリアハスティカナと道化師』				

出典	ジャンル	日時	催事タイトル	主催	出演	その他	備考
A(日出)、 B(日出)	演劇	1923年2月17・18日	美術座研究劇 ヘルマン・バンク作『兄弟』 谷崎潤一郎作『愛すればこそ』		美術座		東館での公演
A(日出)	邦楽	1923年3月19日	京都常盤津文字橋会 第1回披露目会	常盤津文字橋			
A(日出)	洋楽	1923年4月25日	ドゴウスキー洋琴独奏会		ドゴウスキー		
A(日出)、 B(日出)	演劇	1923年5月4日	児童劇 『少年鼓手』『夢のみ国』(成徳校同窓会) 『足柄山』『音楽教師』(待賢校同窓生)	京都子供愛護連盟			
A(日出)	邦楽	1923年5月15日	清元研究豊声会 第1回演奏会				
B(大朝)	演劇	1923年5月24・25日	美術座研究劇 シング作『谷蔭』 小山内薫『第一の世界』 ダンサニー作『旅籠屋の一夜』		美術座		
A(日出)	邦楽	1923年5月27日	清元師匠順花女の還暦祝賀演奏				
A(日出)、 B(日出)	演劇	1923年6月3日	希望座 第1回試演会 津村京村作『その夜』 有島武郎作『ドモオの死』 成瀬無極作『池』		希望座		東館での公演 京都府立医科大学予科生により組織された。
B(大朝・ 京都日日)	演劇	1923年6月15・16日	弘法大師降誕記念劇 美術座 鳥越道眼作『宝塔を開くまで』 アンドレエフ『人の一生』 久米正雄『地藏蔵由來』		美術座		
B(大朝)	演劇	1923年12月1・2日	美術座研究劇 カーチス・ラ・ク・デル作『心理学者』 谷崎潤一郎作『愛すればこそ』 ほか		美術座		東館での公演
A(日出)、 B(大朝・日出)	演劇	1924年1月ー日	小劇場表現座 第1回試演会 『カフェー女物語』				
A(日出)、 B(日出)	演劇	1924年2月1・2日	美術座研究劇 カーチス・ラ・ク・デル作『心理学者』 谷崎潤一郎作『愛すればこそ』 ほか		美術座		1923年12月と同じ内容の公演を本館で上演
B(大朝)	演劇	1924年2月2・3日	美術座研究劇 武者小路実篤作『その春』		美術座		東館での公演
B(大朝)	歌劇	1924年2月9・10日	宝塚少女歌劇 『あこがれ』『薔薇の精』『桶祝言』『人格者』	関西大学専門部学生同盟 会	宝塚少女歌劇		大阪毎日新聞社後援
A(日出)	洋舞	1924年3月18・19日	河合ダンス 京都初公演				
A(日出)	日舞	1924年3月26日	若柳流舞踊大会 『賤機帯』『子守』 など				
B(大朝・日出)	歌劇	1924年6月1日	宝塚少女歌劇 御伽歌劇『笛が鳴る』 歌劇『松浦鏡』 舞踊劇『七色鳥』 歌劇『羅生門』 ほか	京都基督教青年会 日本健康会	宝塚少女歌劇		
A(日出)	洋楽	1924年11月1日	柳兼子独唱会		柳兼子		
A(日出)	洋楽	1924年11月10日	御成婚奉祝大音楽会		宮内省音楽部37名		
B(大朝・日出)	その他	1924年11月13日	支那劇 『連陞三級』『黄鶴樓』『空城計』『紅線伝』	日支親善協会	梅蘭芳		
A(日出)	邦楽	1924年11月16日	鴻鳳会創立10周年邦楽演奏会				
B(大朝)	歌劇	1924年11月22日	宝塚少女歌劇 御伽歌劇『燈台守の娘』 舞踊『大原車』 歌劇『能因法師』『夜の潮』 ほか	京都基督教青年会 日本健康会	宝塚少女歌劇 天津乙女 ほか		
A(日出)	日舞	1924年12月2日	若柳流家庭舞踊会 第1回発表会	若柳吉兵衛			
A(日出)	洋舞	1924年12月2日	松浦旅人舞踊第1回発表会『ダンスと舞踊の夕』				
A(日出)	邦楽	1925年1月11日	民心作興琵琶演奏大会 『那須与一』『筑後川』 ほか				
A(日出)、 B(日出)	演劇	1925年2月15日	新劇研究会 第二回公演会 岡本綺堂作『朝飯前』 セクスピア『ハムレット』 ほか	新劇研究会	新劇研究会		
A(日出)	邦楽	1925年5月26日	長唄紫好会第10回演奏会		杵屋佐吉社中、富士田音蔵、杵 屋楽玉ら。		
A(日出)	日舞	1925年6月15日	女流舞踊競演会	歌舞興会			
A(日出)	邦楽	1925年6月17日	常盤津2世林中7回忌追悼演奏会				

出典	ジャンル	日時	催事タイトル	主催	出演	その他	備考
A(日出)、 B(大朝・日出)	その他	1925年 8 月 1 日	支那女形名優緑牡丹公演 『拾黄金』『虹閨閣』 ほか		緑牡丹		
A(日出)	邦楽	1925年10月 2 日	浄瑠璃かたばみ会 京都初公演		祇甲義太夫研究会、先斗町千鳥 連、宮川町三輪連共演。		
A(日出)	洋楽	1925年10月10日	京都西洋楽器商組合設立披露第1回民音楽会				
A(日出)	洋舞	1925年10月12・13日	デニンショウン舞踊詩団(米)公演		デニンショウン舞踊詩団		
A(日出)	洋楽	1925年12月 4 日	マルシェックス(仏)ピアノ演奏会	京都音楽協会	マルシェックス		
A(日出)	邦楽	1926年 3 月15日	長唄絃声会50回記念特別演奏会				
A(日出)	洋舞	1926年 3 月19日	新舞踊、榎茂都流(陸平)初公演		榎茂都流陸平		
A(日出)	洋楽	1926年 5 月 6 日	テノール歌手松山芳野里独唱会		松山芳野里		
A(日出)、 B(日出)	演劇	1926年 2 月19-21日	巖谷小波先生謝恩記念 川上お伽劇 童話劇『桃太郎』				
A(日出)、 B(日出)	演劇	1926年 3 月29日	巖谷小波先生謝恩会 『おもちゃの箱』『清正幼物語』	京都お伽倶楽部			京都日出新聞本社、こども連合会後援
A(日出)、 B(日出)	歌劇	1926年 5 月22・23日	宝塚少女歌劇 御伽歌劇『あこがれ』歌劇『寅童子』『平等院大臣』 喜歌劇『笑ひの似顔絵』『伯父の遺産』	京都基督教青年会 京都市医師会救療部	宝塚少女歌劇 月組		
A(京科大学 音楽部沿革史)	洋楽	1926年 6 月 6 日	京大オーケストラ ベートーヴェン『交響曲第5番』		京大オーケストラ	指揮：エマヌエル・ メッテル	
A(日出)	邦楽	1926年 6 月27日	鳴物教師福富政之助3代目六師新平襲名披露演芸大会				
A(日出)	邦楽	1926年 6 月28日	杵屋佐吉洋行、長唄紫好会送別演奏会		杵屋佐吉社中、富士田音蔵、 杵屋兼玉ら。		
B(大朝)	歌劇	1926年 7 月 9 日	堺大浜少女歌劇 御伽歌劇『端弁慶』 舞踊詩『聖母讃頌』 歌劇『花売の娘』『六波羅絵巻』	京都扶助会	堺大浜少女歌劇		堺大浜少女歌劇は南海電鉄株式会社が、宝塚 少女歌劇を真似て始めたもの。
B(大朝)	演劇	1926年10月 4・5 日	築地小劇場 レオニード・アンドレエフ作『横面をはられる彼』 小山内薫作『息子』 パアナード・ショウ作『馬泥坊』		築地小劇場		
A(日出)	洋楽	1926年10月27日	京都市教育委員会創立25周年記念音楽会 弘田亀太郎作曲『よろこび』 ほか				
A(日出)	その他	1926年11月23・24日	華道家元桑原専慶流諸国直門挿花大会				
B(大朝)	歌舞伎	1926年11月29日	松本幸四郎公演会 舞踊『子守三番叟』『挽久』 秘曲『絲の調』 坪内博士作『お夏狂乱』 ほか	アートクラブ	松本幸四郎 ほか		アートクラブは京都市ホテル内にある。
A(日出)	邦楽	1926年12月 7 日	京都芸術研究会創設記念発表会				琵琶、琴、浄瑠璃など。
A(日出)、 B(日出)	演劇・ 洋舞	1927年 1 月23日	ルシアンパレーと演劇大会 喜劇『女の力』 パレー『人形師の夢』 悲劇『カルメンの最後』	ロシア芸術後援会			
A(日出)、 B(日出)、C	演劇	1927年 1 月29・30日	築地小劇場京都公演 武者小路実篤作『愛欲』 カール・シュテルンハイム作『ホゼ』	東京築地小劇場 京都パントルウン	築地小劇場	演出：土方與志	
A(日出)	洋楽	1927年 2 月27日	モグレウスキー、ヴァイオリン独奏会	音楽協会			A. モグレフスキーと思われる。
A(日出)、 B(日出)	洋楽・ 劇・ 洋舞	1927年 3 月 4 日	シドニー・トムソン嬢 独唱・劇・舞踊	アートクラブ	シドニー・トムソン		
A(日出)	邦楽	1927年 3 月28日	杵屋佐吉婦朝歓迎演奏会		杵屋佐吉		
B(大朝・日出)	日舞・ 演劇	1927年 4 月15日	舞踊と演劇 舞踊『森種蒔』『三幅対和歌交画』『玉箒』 メロドラマ『春鶯伝』	アートクラブ	帝劇女優 初瀬浪子、 河村菊江、藤間房子 ほか		
A(日出)、 B(大朝・日出)	オペラ	1927年 5 月 6 日	ロシア大歌劇団 歌劇『ファウスト』	京都音楽協会			
B(大朝)	オペラ	1927年 5 月18日	ロシア大歌劇 歌劇『カルメン』	京都音楽協会			会場の都合で中止になった演目『カルメン』 を望むファンが多かったため、交渉の末上演 に至る。
B(大朝)	演劇	1927年 5 月23日	宝塚国民座 久米正雄作『地蔵教の由来』 額田六福『真如』 岡本綺堂作『権三と助十』	丸金醤油会社			

出典	ジャンル	日時	催事タイトル	主催	出演	その他	備考
A(日出)	洋楽	1927年6月11日	京都ストリング・オーケストラ		京都ストリング・オーケストラ ソプラノ 北脇とみ子	指揮：中村良治	
A(日出)	洋楽	1927年10月9日	京都ストリング・オーケストラ		京都ストリング・オーケストラ		
B(大朝)	演劇	1927年9月6・7日	近代演劇社 第1回公演 久米正雄『牧場の兄弟』 エルクマン・シヤトリアン作『鈴の音』		近代演劇社		
B(京都日日)	演劇	1927年9月12日	前衛座 村山知義作『カイゼリンと歯医者』 ルー・メルテン作『炭鉱夫』		前衛座		労農党関西支部、群集劇場、京大劇研究会後援。
B(大朝)	演劇	1927年9月17日	アウダシヤ小劇場 ダンセニー作『光の門』 菊池寛作『順番』 グスタフ・ウィード作『ねんねの旅籠』	アウダシヤ小劇場	京大学生有志 三高生徒		
A(日出)、 B(京都日日)	演劇	1927年9月27日	エラン・ヴィタール創立10周年 トルストイ作『生ける屍』				
B(大朝)	演劇・ 洋楽	1927年10月3日	劇と合唱 激『真似』『切支丹屋敷』 合唱『流浪の民』 ほか	京都中央教会婦人会	神戸中央王女会員		
A(日出)	能	1927年10月8日	梅若能大会		梅若六郎、万三郎、鏡之丞		
A(日出)	洋楽	1927年10月11日	藤原義江帰朝歓迎独唱会	京都音楽協会			
B(大朝・日出)、 C	演劇	1927年11月17・18日	築地小劇場京都公演 アントン・チエエホフ『叔父ワアニヤ』 アントン・チエエホフ『熊』	東京築地小劇場 京都パントルウン	築地小劇場	演出：小山内薫	
A(日出)	演劇	1927年11月25日	エラン・ヴィタール小劇場 『シオン・オケシー』『ジュノと孔雀』『寛大な恋人』	エラン・ヴィタール小劇場			
A(日出)	洋楽	1927年12月5日	ジムバクスト大演奏会	音楽協会			ヴァイオリニスト、E. ジンバリストと思われる。
A(日出)、 B(日出)	洋楽	1928年1月15日	音楽と歌劇の会 音楽：独唱、ピアノ、ヴァイオリン演奏 歌劇『クリスビーノとコマレ』	京都音楽協会	東儀哲三郎・美智子、清水金太郎・静子		
A(日出)、 B(日出)	演劇・ 日舞・ 映画	1928年1月21日	全同志社蹴球部選手送別兼慰安 劇と舞踊と映画の夕 巖谷三一作『秋晴れ』 舞踊『沙汰』『吾妻八景』 映画『三高対同志社蹴球戦』 ほか	同志社中学会	エラン・ヴィタール小劇場 藤間社中、長根社中		
A(日出)	映画	1928年3月22・23日	発声活動写真(フォノ・フィルム)公開 舞踊『鏡』高田舞踊団 吹奏楽『六段』陸軍軍楽隊 小品舞踊『影』花柳徳次 小山内薫脚色監督『黎明』築地小劇場 小品舞踊『幻想の印度』高田雅夫、原せい子 松本幸四郎主演『素袍落』 ほか	昭和キネマ			皆川芳造が大正末にアメリカから「フォノ・フィルム」を持ち帰り、製作した作品。
B(大朝)、C	演劇・ 洋楽	1928年4月23・24日	イブセン生誕百年記念公演 組曲『ベエル・ギュント』 ヘンリック・イブセン作『幽霊』	東京築地小劇場 京都パントルウン	築地小劇場 京都交響楽団	演出：土方與志	京都交響楽団がどのような団体かは不明。
A(日出)	洋楽	1928年4月30日	新交響楽団演奏会		新交響楽団		現 NHK 交響楽団
A(日出)	洋楽	1928年5月23日	演奏会	アートクラブ	ソプラノ・立松房子、アルト・永井智子、ヴァイオリン・松山長谷夫		
A(日出)	洋楽	1928年6月2日	京大音楽管絃楽団 春季演奏会	京大音楽管絃楽団	京大音楽管絃楽団	指揮：エマヌエル・メッテル	
A(日出)	洋楽	1928年6月4日	ジャック・ティボウ ヴァイオリン独奏会		ジャック・ティボウ		
A(日出)	洋楽	1928年9月28日	萩野綾子・深尾須磨子演奏会	音楽協会	萩野綾子・深尾須磨子		深尾須磨子作詞の曲を帰朝して間もないソプラノ歌手・萩野綾子が歌った演奏会とみられる。
A(日出)、 B(大朝・日出)	その他	1928年10月18-23日	大礼博特別余興 中国韓世昌一座 崑曲公演 『思凡』『鬧学』『驚夢』『撈紅』		韓世昌		
B(日出)	浄瑠璃	1928年12月12・13日	人形浄瑠璃大会	京都幼声会	文楽座		
A(日出)	映画	1929年1月23日	発声映画の会 『生門死門』『一剣横行』『紙人形春の囁』	大阪毎日			
A(日出)	演劇	1929年1月25・26日	築地小劇場 小山内薫追悼公演 ゴーリキ作『どん底』		築地小劇場		
A(日出)	洋楽	1929年3月3日	柳兼子帰朝歓迎演奏会		柳兼子		

出典	ジャンル	日時	催事タイトル	主催	出演	その他	備考
A(日出)	洋楽	1929年3月12日	ベートーヴェン：『莊嚴ミサ』	市教育会	東京音楽学校・学軍軍楽隊250名		後援：市社会教育課
A(日出)	洋楽	1929年3月13日	合唱・独唱演奏会	市教育会	東京音楽学校・学軍軍楽隊250名		後援：市社会教育課
A(京都音楽史)	洋楽	1929年3月26日	新交響楽団演奏会		新交響楽団		現 NHK 交響楽団
A(日出)	洋楽	1929年3月28日	東京高等音楽院、新交響楽団合同演奏会		東京高等音楽院、新交響楽団	指揮：近衛秀麿	
B(大朝・日出)	歌劇	1929年4月13・14日	宝塚少女歌劇 御伽歌劇『魔法博士』 歌劇『雪消の沢』 喜歌劇『四人の歩哨』『守銭奴』 ほか	京都基督教青年会 同志社大学学生会水泳部	宝塚少女歌劇 雪組		
A(日出)、 B(大朝・日出)、 C	演劇	1929年5月9・10日	築地小劇場出張公演 ゲオルク・カイゼル『朝から夜中まで』		築地小劇場	演出：北村喜八 舞台装置：村山知義	5/6 大阪・中之島中央公会堂、 5/7.8 神戸・基督教青年会館、 5/11.12 名古屋・新守座
A(日出)	洋楽	1929年5月14日	ガリクルチ ソプラノ独唱会				A. ガリ＝クルチと思われる。
A(日出)	洋楽	1929年6月5日	藤原義江帰朝独唱会	音協、朝日新聞事業団			
A(京都音楽史)	洋楽	1929年6月11日	京大オーケストラ第15回演奏会	京大オーケストラ	京大オーケストラ	指揮：エマヌエル・メッテル	
B(大朝)、C	演劇	1929年7月7・8日	新築地劇団第二回地方公演 金子洋文作『牝鶏』 藤森成吉作『何が彼女をそうさせたか？』	大阪朝日新聞本社社会事業団	新築地劇団	演出：土方與志	7/4.5 大阪・朝日会館、7/10 豊橋・東雲座、 7/11.12 名古屋・御園座、7/13 松本・建国座、 7/14 上諏訪・都座
A(日出)	能	1929年10月1日	梅若秋季能楽大会				
C	洋楽	1929年10月2日	永井郁子女史 邦語独唱会	レート白粉本舗	永井郁子		化粧水「レートソプラ」の販売記念事業として開催。
A(日出)	洋楽	1929年10月4日	レオ・シオタ ピアノ演奏会		レオ・シオタ		
A(日出)	洋楽	1929年10月18日	ボリス・ラス ヴァイオリン演奏会		ボリス・ラス		
B(大朝)	歌劇	1929年10月23・24日	宝塚少女歌劇 電燈50年記念 レヴュー『光』 バレー『時の経過』 喜歌劇『平家村』『二人神楽師』	電燈五十年記念会京都実行委員会	宝塚少女歌劇		
A(日出)	洋楽	1929年10月27日	伊達三郎ソロ独奏会				
A(京都音楽史)	洋楽	1929年10月30日	京大オーケストラ第16回演奏会	京大オーケストラ	京大オーケストラ		
A(日出)	洋楽	1929年11月6日	第4回京都混声合唱団公演		京都混声合唱団、柳兼子、近藤義次、上村いさを ほか	指揮：エフゲン・クレイン	
B(大朝・日出)、 C	演劇	1929年11月11・12日	新築地劇団第四回関西公演 三好十郎作『傷だらけのお秋』 林房雄原作『都会双曲線』		新築地劇団	演出：隆松秋彦 演出：香川晋	11/13.14.15 大阪・朝日会館
A(日出)	洋楽	1929年11月23日	京都絃楽合奏団第5回演奏会				
A(日出)、 B(京都市日)、 C	演劇	1930年2月27・28日	劇団築地小劇場大公演 エス・トレチャコフ『瓦斯マスク』 エス・トレチャコフ『吼えろ支那』		築地小劇場	演出：北村喜八 演出：青山杉作、 北村喜八	
A(日出)	邦楽	1930年3月27日	柗屋佐吉 長唄紫好会第17回公演会 柗屋佐吉作『佐々木信綱歌、伊勢参宮』 三絃主奏楽『天の岩戸』 ほか		柗屋六左衛門、勝五郎 ほか		
B(大朝・日出)、 C	演劇	1930年4月14・15日	新築地劇団関西公演 落合三郎作『慶安太平記後日譚』		新築地劇団	演出：隆松秋彦 演出：土方與志	4/16.17 大阪・朝日会館
B(大朝)	演劇	1930年5月2日	エラン・ヴィタール小劇場 ア・ファイコ作『アプス先生』 新興芸術派新人作『コスモス女学校』		エラン・ヴィタール小劇場		
A(日出)、C	演劇	1930年5月31日	新築地劇団一周年記念関西公演 村山知義作『上には上－或いは下には下』 落合三郎作『筑波秘録』		新築地劇団	演出：隆松秋彦 演出：土方與志	5/29.30 大阪・朝日会館
B(大朝)	歌劇	1930年6月5日	日本楽劇協会京都公演 歌劇『お蝶夫人』	朝日新聞社会事業団	管弦楽日本交響楽協会会員 合唱アサヒ・コーラス団	指揮：山田耕作 演技監督：土方与志	
B(日出)	洋楽・ 劇・ 洋舞	1930年6月28日	ジャズと舞踊と演劇の夕		日活アクターズバンド 日活現代劇和楽部		

出典	ジャンル	日時	催事タイトル	主催	出演	その他	備考
B(京都市日)	演劇・洋舞	1930年7月10日	劇と舞踏の会 アンリー・ベック作『避暑地のC婦人』 武者小路実篤作『からち山』 舞踊『唐人お吉』 ほか	京都芸術研究会	岡田嘉子、竹内良一 ほか		東亜通信社後援
B(大朝)	洋舞	1930年9月25日	石井漢 舞踊団 『ピエロは嘆く』『ピチカット』『憂鬱なる街頭』 『カリカチュア』『弓の踊』『欲楽の舞踏』	朝日新聞社会事業団	石井漢、石井栄子、荒木陽、 轟美津子 ほか		
B(京都市日)	その他	1930年9月30日	新声劇漫芸の夕 『剣戟レビュー』『岡崎踊』『義士の一木槍』 ほか	朝日新聞本社			
B(大朝)	歌劇	1930年11月15日	宝塚少女歌劇 成案女史学院同窓会母校十周年記念 喜歌劇『偽片輪』『元家』 舞踊『胡桃割り』 ほか		宝塚少女歌劇		
B(大朝)	歌劇	1930年11月29日	ドイツ ダルムシュタット市立劇団 『ファウストの夕』	朝日新聞社会事業団			
A(日出)	洋楽	1931年1月17日	東京音楽学校演奏会	東京音楽学校	東京音楽学校		
B(大朝・日出・京都市日)	演劇	1931年2月14日	東京新築地劇団 三好十郎作『ガス』		新築地劇団	演出：土方与志	
B(日出)	演劇	1931年3月12日	劇と舞踊社 第1回公演 オット・ミューラー作『荷車』 舞踊『金色の舞』 ほか		川村勝夫、明石緑郎 ほか		
B(大朝)	演劇	1931年3月17日	劇団新東京 八住利雄『街のルンペン』 モリエール『ドン・ファン』				
B(大朝)、C	演劇	1931年4月20・21日	第9回新築地劇団京都公演 高田保脚色『アジアの嵐』		新築地劇団	演出：土方與志	4/16.17.18 大阪・朝日会館、4/23 名古屋・市公会堂
B(大朝・日出・京都市日)	演劇	1931年5月11-13日	中田正造劇 河村健一作『明智光秀』 ほか		田中正造、根岸若之助、 鬼頭善一郎 ほか		
A(日出)、 B(大朝・日出・京都市日)、C	演劇	1931年6月17日	新築地劇団京都公演 村山知義作『東洋車両工場』		新築地劇団	演出：土方與志	応援 京都青服劇場、大阪戦旗座、プロレタリア美術家同盟大阪・京都支部
A(日出)	洋楽	1931年9月19日	オペラ歌曲と歌謡の夕		宝光井公雄、桜井愛子、 オルガ・カラスロワ ほか		市社会教育課後援
B(日出・京都市日)	邦楽	1931年10月28・29日	道成寺芸術大会 寿式三番叟、常盤津舞踊道成寺道行 長唄舞踊娘道成寺 ほか	京都道成寺会	尾上菊枝 ほか		
B(大朝)	演劇	1931年11月16日	東京新築地劇団 日本プロレタリア文化連盟結成記念関西公演 和田勝一作『土地・闘争』 村山知義作『勤労学校』		演出：土方与志		
A(日出)	演劇・洋楽・その他	1931年12月13日	演劇・音楽・漫談の夕 『金色夜叉』『義勇兵の影』 ほか				
A(日出)、 B(大朝・日出)、 C	演劇	1932年1月20・22日	新築地劇団関西新春公演 ヴェ・キルシヨン作『風の街』		新築地劇団	演出：土方與志、 杉本良吉	パンフレットには京都では20・21日に開催とあるが、当局の命により22日に変更になった。 1/16.17 大阪・中之島中央公会堂、1/19 神戸・八千代座、1/23 名古屋・御園座
B(大朝・日出)	演劇	1932年2月22日	史劇『親鸞上人』	日本宗教劇協会、合掌会	古川利隆、花村緋紗子 ほか		
A(日出)	洋楽	1932年3月22日	コンスタンチン・シャビロ セロ独奏会		コンスタンチン・シャビロ		
B(日出)	演劇	1932年4月7日	第11回日本染織物見本市 服飾宣伝オンパレード 『心境の変化』		日活太秦撮影所オールスター キャスト		
B(大朝・日出)	演劇	1932年5月23・24日	日本宗教演劇連盟 第2回 『親鸞は生きて居る』	日本宗教演劇連盟			
A(大朝)	洋楽	1932年6月3日	京大オーケストラとヴァイオリン・コンチェルト演奏会		京大オーケストラ		
A(大朝)、C	洋楽	1932年6月4日	三浦環女史 帰朝記念独唱会	三浦環後援会	三浦環	伴奏：エンリコ・エ フ・ロツシー	パンフレットには「贈 十字屋楽器店」とあるが、後援とみられる。
C	洋楽	1932年6月10日	ビクター専属世界的提琴家 シュメー女史提琴大演奏会	京都洋楽器商組合	ルネー・シュメー		
A(日出)	洋楽	1932年7月13日	佐藤美子帰朝独唱会		佐藤美子		
A(日出)	洋楽	1932年9月22日	藤原義江 オペラの夕		藤原義江		

出典	ジャンル	日時	催事タイトル	主催	出演	その他	備考
A(日出)	邦楽	1932年9月23日	長唄研究所関西支部試演会				
A(日出)	洋舞	1932年11月11日	石井漢(ママ) 新作舞踊公演		石井漢		石井漢の間違いと思われる。
B(大朝)	浄瑠璃	1932年12月15日	文案『忠臣蔵』『五郎正宗孝子』『義経千本桜』	京都仏教護国団			
B(日出)	歌劇	1933年3月19-21日	先斗町レビュー団 教育童話劇				京都市後援。
A(日出)、 B(大朝)	洋楽	1933年3月19日	歌劇『リゴレット』	朝日新聞社会事業団	指揮：篠原正雄、伴奏：宝塚交響楽団、アサヒコーラス、東京ヴォーカルフオー合唱团		邦語上演。
A(日出)	洋楽	1933年6月3日	藤原義江 渡欧告别独唱会		藤原義江		
A(日出)	洋楽	1933年6月11日	新交響楽団 近衛秀麿渡欧告别演奏会		新交響楽団	指揮：近衛秀麿	
A(日出)、 B(日出)	洋舞	1933年7月8日	高田せい子1933年 新作舞踊の夕	芸術的演奏会	高田せい子		
A(日出)、 B(日出・ 京都日日)	歌舞伎	1933年8月20・21日	中村扇雀 路明座旗上 近松門左衛門作『秋田名物佃煮行商』『心中刃水明日』 『京鹿の子娘道成寺』	路明座	中村扇雀、中村鴈之助、中村成太郎 ほか		
A(日出)、 B(大朝・日出)	歌劇	1933年9月23・24日	宝塚少女歌劇 舞踊劇『太刀盗人』 舞踊『お夏幻想曲』 歌劇『ユングハイドルベルヒ』 レヴュウ『サルタンバング』	京都慈善婦人協会	宝塚少女歌劇 月組	振付：白井鉄造 ほか	京都市社会課後援。
B(大朝)	演劇	1933年9月27日	志賀廼家淡海一座 『勸進劇』	嵯峨天龍寺多宝殿再建奉賛会			
A(日出)	日舞	1933年11月4・5日	若柳吉兵衛『家庭舞踊会』10周年記念大会				
B(大朝・日出)	浄瑠璃	1933年11月24日	文案座 人情浄瑠璃大会 『弁慶上使』『壺坂』 ほか	京都仏教護国団	文案座		
B(大朝・日出)、 C	演劇	1933年11月26・27日	築地座 第一回京都公演 川口一郎作『二十六番館』『おふくろ』	築地座	築地座	演出：岸田國士 演出：川口一郎	11/23.24.25 大阪・文案座
B(大朝・日出)	演劇	1933年12月1・2日	国民劇場 第1回公演 真山青果作『戦はこれからだ』 直木三十五作『日本の戦慄』 山本有三『同志の人々』	国民劇場	国民劇場		在郷軍人京都連合会、京都市社会教育課後援。
A(日出)	洋楽	1934年2月11日	藤原義江 第7回帰朝記念独唱会		藤原義江		
B(日出)	演劇	1934年2月12・13日	新生座 第1回公演 岡本一平作『気の抜けた仇討ち』『良弁杉』 ほか	大アジア建設社	松本高麗次郎、花村緋紗子		
A(日出)、 B(日出)	日舞	1934年2月19日	祇甲常盤津教師 文糸亡妻7周忌追善会 『子宝三番度』 ほか		尾上菊五郎、市川男女蔵 ほか		
A(日出)	洋楽	1934年2月25日	中川牧三帰朝発表独唱会		中川牧三		
A(日出)	邦楽	1934年4月24日	勝富会 長唄演奏会				
A(日出)、 B(日出)	演劇	1934年6月9日	新築地劇団 シェークスピア作『ハムレット』	京都 YMCA	新築地劇団		
A(日出)	洋楽	1934年6月17日	近衛秀麿帰朝記念 新交響楽団 クロイツァ ピアノ・コンチェルト演奏会		新交響楽団 クロイツァ	指揮：近衛秀麿	

※A＝京都府『京都府百年の年表9 芸能編』、1974年、B＝国立劇場近代歌舞伎年表編纂室『近代歌舞伎年表京都篇』第6-9巻、1995年、C＝京都府立総合資料館『岡崎公会堂筋骨』のパンフレット

※典拠は大朝＝大阪朝日新聞、日出＝京都日出新聞、京都日日＝京都日日新聞

表3：京都市公会堂で行われた芸能関係の催事の開催回数

	演劇	洋楽	邦楽	歌劇	洋舞	日舞	その他	オペラ	能	浄瑠璃	映画	歌舞伎
合計	80	56	23	21	12	7	6	5	3	3	2	2

IV. おわりに

今回の原稿は催事リストが主体となった。網羅的に羅列された記録は一見意味をなさないもののように見えるが、「いつ」「誰が」「何を」上演したのかというこれらの記録は、誰かがある時間軸の一瞬间に京都市公会堂という空間に留まった歴史である。筆者はこの層の厚さがこの公会堂の役割を意味付けることになると考え、今回このようにバラバラに存在していた史料をまとめ、俯瞰可能な状態にした。この公会堂が演劇上演の中心となっていただけでなく、洋楽受容の窓口として果たした役割もこれらの表から伺うことができる。

多目的な催事を行う場である「公会堂」では、芸能関係の催事以外にも、表1で示したように各種集会（大会、茶話会、講演会、演説会、総会等）が行われていた。これらの催事を把握するには、地元紙や公文書などの情報から丹念に拾い上げなければならないが、時間と労力の限界のため今回は断念した。これらが明確になれば、他の公会堂との比較を以てより一層、この「京都市公会堂」の特徴が明らかになると考えられるため、今後の課題としたい。

（原稿受理日 2016年9月16日）